

## 韓国における体育と運動学を専攻した学生の 職業的展望とインターンシップ・プログラムの現状

バン・ジャン・リン  
韓国：ソウル大学 名誉教授

### 要 約

本論文の目的は、韓国において体育ならびに運動学を専攻した学生の就業先としてスポーツ関連の職業のプロファイルを明らかにし、その雇用の特徴を分析して、職業としてのスポーツの現状を探ることにある。特に、雇用機会に密接に関連するインターンシップの現状に焦点を合わせる。こうした目的のもと、スポーツ関連の仕事の雇用状況に関する二次的ソース、オンラインのリソース、電話インタビュー、インターンシップ関係者の面接などを通じてデータを収集し、分析した。

スポーツ関係の仕事への需要は毎年2.40%のペースで増加し、2000年72,600件から2015年には94,200件になると見込まれている。体育教師や教授も含めれば、110,000件の雇用となる。このことは、スポーツ関連の雇用は他の分野に比べてずっと速いペースで変化しているといえる。プロのスポーツ選手の収入は平均よりもずっと高く、スポーツ関係の就業者の学歴も比較的高い。

産学協同の重要性が増し、韓国的高等教育のカリキュラムにもその影響が出ている中、インターンシップ・コースの必要性は高まっている。インターンシップ・プログラムを管理するうえで学生の自立性が尊重されることが期待される。

- ・ スポーツ関連の職業の特徴と変化
  - 1. スポーツ関連の職業の分類
  - 2. スポーツ関連の職業の範囲と展望
  - 3. スポーツ関連の職業の雇用構造
- ・ インターンシップ
  - 1. 4年制大学
  - 2. 短期大学
  - 3. カリキュラム管理の特徴と展望

引用文献